

# JIC Private Equityの設立について

2020.9.9

# 1. はじめに

**当社は、オープンイノベーションによる企業の成長と  
競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、  
投資人材の育成等を行い、  
我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環を創出します。**

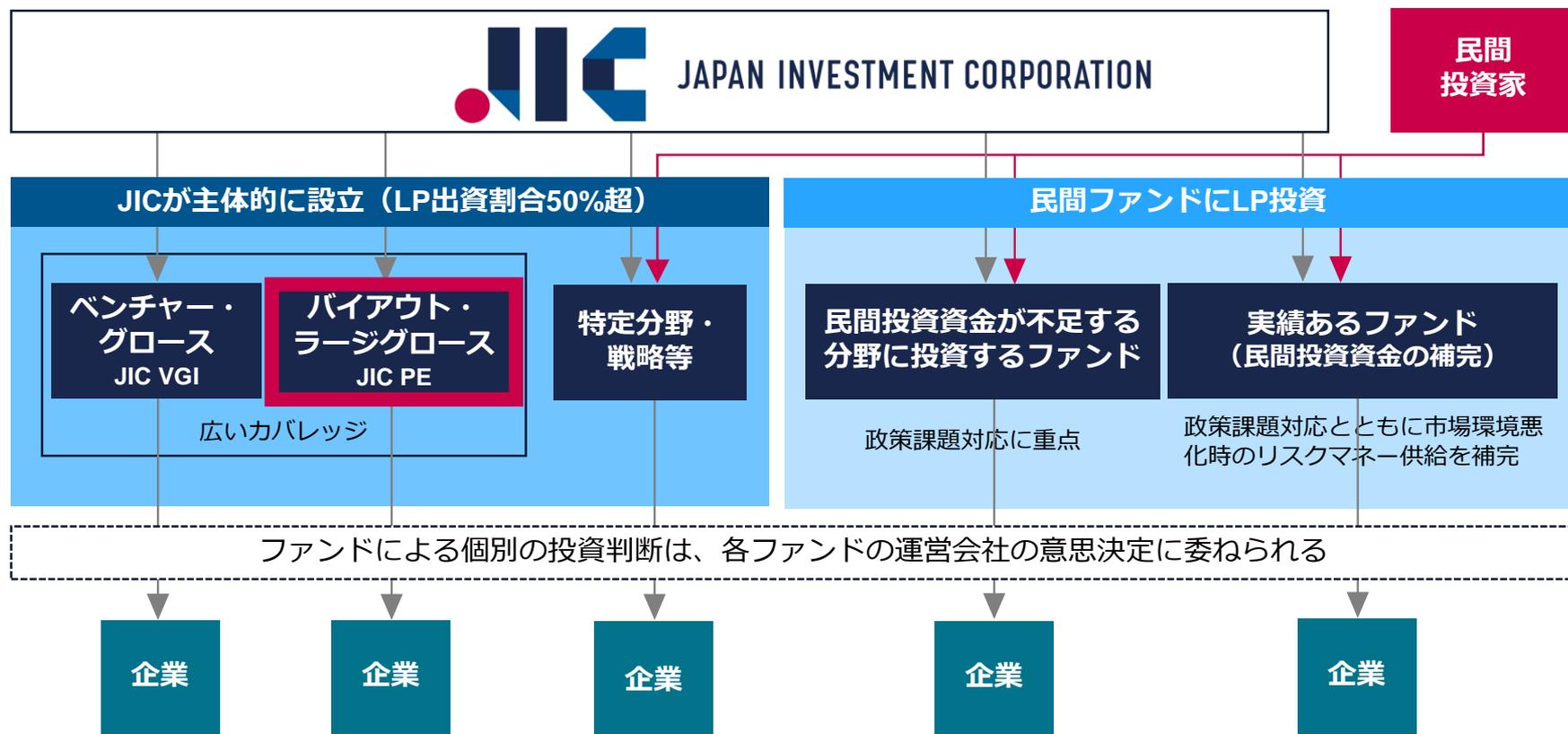
## (1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネーの供給



## (2) 我が国のリスクマネーの好循環創出に向けた基盤づくり



- JICのファンド投資戦略としては、JICが主体的に設立するファンドと民間ファンドへの投資を実施していく。
- 今回設立するJIC PEは、JICが主体的に設立するファンドの1つという位置づけ。
- 今後も、各ファンドの戦略、民業補完の考え方等に基づき、投資検討を進めていく。



- JIC Private Equity（JIC PE）は、「**Society 5.0**」実現に向けた**新産業の創造**、**国際競争力強化に向けた事業再編の促進**、**Digital Transformation（DX）促進をはじめとした次世代社会基盤の構築**に向けたリスクマネー供給を担う。

中長期的かつ産業政策的な観点での  
リスクマネーの供給は依然として限定的

DXの促進やサステナブル社会の実現、  
海外市場の取込み等の業界共通の課題

## JIC PEの投資対象

新産業の創造につながる“新興領域への投資”

大規模な事業再編のための“成熟領域への投資”

- JIC PEの運用会社（JICキャピタル株式会社）のCEOには、事業会社において**DXを通じたビジネスモデルの変革を実現**するとともに、**新事業や国内外企業への投資を数多く経験**してきた**池内省五氏**を迎え、投資を遂行するチームを組成。



**池内 省五**  
代表取締役社長CEO

- 略歴：
  - 京都大学大学院工学部卒業
  - 1988年：(株)リクルート(現(株)リクルートホールディングス)入社
  - 2005年：同社 執行役員 経営企画室、事業統括室担当
  - 2012年：同社 取締役 兼 執行役員 グローバル本部・アジア領域、経営企画、人事支援担当
  - 2012年：(株)リクルートホールディングス 取締役 兼 執行役員 グローバル本部、経営企画、R&D、人事担当
  - 2013年：同社 取締役 兼 常務執行役員 中長期戦略本部、海外事業本部、R&D本部、経営企画本部、人事本部担当
  - 2014年：同社 取締役 兼 常務執行役員 海外事業本部、R&D本部担当
  - 2015年：同社 取締役 兼 常務執行役員 R&D本部、経営企画本部、人事本部担当
  - 2016年：同社 取締役 兼 専務執行役員 経営企画本部、人事本部、R&D本部担当
  - 2017年：同社 取締役 兼 専務執行役員 経営企画本部、人事本部担当
  - 2017年：同社 取締役 兼 専務執行役員 経営企画本部 (CSO)、人事本部 (CHRO) 担当
  - 2019年：同社 取締役 兼 専務執行役員 人事・総務本部 (CHRO) 担当
  - 2020年：同社 顧問 (現在)
- 職務経歴：
  - グローバル企業において新規事業開発や海外展開を推進した経験を有し、経営企画及び人事の責任者を務めるなど、経営に関する高い見識を有する
- その他役職、委員等：
  - ソニーフィナンシャルホールディングス(株) 社外取締役 (現任)
  - AnyMind Group(株) 社外取締役 (現任)
  - 内閣府「構造改革評価報告書」タスクフォース委員
  - 経済産業省「経営競争力強化に向けた人材マネジメント研究会」委員 等

## 2. JIC PEについて

- 大規模・長期・中立的なリスクマネー供給を通じて、国際競争力強化に向けた事業再編、「Society 5.0」をはじめとする新産業の創造、社会的課題の解決、民間資金の呼び水といった政策目標と収益目標の両立を目指す。

■ ファンド規模	2,000億円 (別途JICとの共同投資ファンド2,000億円)	■ 投資戦略	バイアウト(再編、カーブアウト、買収) グロース 次世代社会基盤
■ ストラクチャー	投資事業有限責任組合		
■ 準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律	■ 投資手法	直接投資
■ 無限責任組合員 (GP)	JICキャピタル株式会社	■ ターゲット 投資社数	10社程度
■ 有限責任組合員 (LP)	株式会社産業革新投資機構 (略称：JIC) JIC PEF1役職員投資事業有限責任組合 (略称：JIC PEF1役職員組合)	■ 平均投資金額	100～400億円※ 共同投資ファンドを活用し 1,000億円規模の案件にも対応
■ 運営期間	10年間 (延長オプション1年間×2回 (LP同意の場合) )		
■ 投資期間	5年間 (LP同意の場合には短縮可)		

※メインファンド出資分(共同投資ファンドによる出資分除く)。

- バイアウト投資においては、投資後の業界再編、事業ポートフォリオの転換を視野に入れたマジョリティ買収（主に国内）、国内企業のグローバル成長を企図した海外共同買収を行う。

## ＜国内＞ 選択と集中による筋肉質な産業構造への転換を促進

- プレーヤーが多い業界における国内企業の事業をカーブアウト、あるいは買収後のロールアップ支援など事業ポートフォリオの転換を促す枠組み
- 将来の業界再編・統合を目指す
- 大型案件の場合、国内事業会社及び民間ファンドとの共同投資も視野

## ＜海外＞ 海外経営資源への共同投資を通じて、国内企業のグローバルな成長を支援

- 国内企業のグローバルな競争力強化を通じて、国内外に於ける統合・再編を促進し、グローバルリーダーの創出を支援

## ＜対象企業＞

- 成熟期にありながら、依然として業界内に大手・中小企業が多数存在するなど国内で合従連衡による効率化の余地が大きい企業
- コングロマリット企業において、成長ポテンシャルがあるものの、ノンコアとなり、リソース（人材／資金）配分が限定的になっている事業部門・子会社等
- 国内企業が国際競争力強化のために海外企業の買収を必要としているものの、資金面・リスク面・M&A経験不足等から踏み出せない企業

- グロース投資においては、日本発のグローバルリーダーの創出、海外の経営資源の国内還流や国内企業の海外展開の促進を目指した、国内外高成長企業へのマイノリティ出資を行う。

## <国内>

### ■優れた技術・ビジネスモデルを持つ日本発グローバルリーダーの創出

- 大規模な成長資金を必要とする企業・事業の連続的な成長、投資先による国内外企業のロールアップ（M&A）などの非連続的な成長を支援

## <海外>

### ■海外の優れた経営資源を国内に還流し、産業基盤を強化

- 主な対象は「Society 5.0」実現へ寄与しうる主にB2B向けのデジタル／脱炭素化・省エネルギー化技術・ビジネスモデル

### ■共同投資の呼び水となることで、国内企業と海外新興企業との事業連携を促進

- 特に、単独での海外展開のハードルが高い中堅・中小企業や新たな技術・ビジネスモデルへの取組みの必要性が高い製造業への参画機会を提供
  - (1) 成長ポテンシャルと資金需要があるもののノンコアとなり、リソース（人材／資金）配分が限定的な事業部門、子会社等（カーブアウト）
  - (2) 成長資金／株主構成再構築が必要な中堅企業
  - (3) グロース・Pre-IPOステージにある成長企業

- 次世代社会基盤投資においては、リスクマネーが不足する通信分野や再生エネルギー等の新たな社会基盤の構築（国内）、国内企業の海外展開の促進（海外）を企図した投資を行う。

## ＜国内＞ 強靱な次世代社会基盤の創出

- 従来にはない新たな社会基盤の構築・運用において、リスクマネーを必要とする国内関連企業を後押し
- 主な対象企業は、（１）5G、IoTをはじめデジタル化の進展で国内需要の増大が見込まれる通信分野（データセンター等）や（２）再生エネルギーなどの政府の成長戦略上も必要性の高い領域か

## ＜海外＞ 海外経営資源への共同投資を通じて、国内企業のグローバルな成長を促進

- 新たな市場の獲得や、海外で先行する事業モデルのノウハウ・知見の獲得を企図する、国内関連企業を後押し
- 主な対象は、（１）通信分野（データセンター等）、（２）再生エネルギー関連事業など優良な経営資源が既にあるなど海外が先行している領域、（３）その他、国内関連企業のグローバル戦略上の対象領域

- 国内の産業競争力強化に向けた中長期的かつ産業政策的な観点でのリスクマネーの供給は依然限定的であり、業界固有・共通の課題がそれぞれ存在

1

## 業界固有の課題

**大規模・中長期のリスクマネー供給が不足していることに起因する、各業界が抱える構造的な課題**

(例)

- **ITビジネス・サービス業界の変革**
  - 先進的な技術・ビジネスモデルにおける海外競争との劣後
- **モビリティ業界の変革**
  - CASE時代における業態変革の後押し
- **ものづくり関連、素材化学業界の構造転換**
  - 国内に大手・中小企業が乱立し、業界全体が非効率で、成長への打ち手が必要
- **社会経済の基盤構築・イノベーションの取り込み**

2

## 業界横断的な課題

**『Society 5.0の実現』等の政府の成長戦略、ESG等の社会的課題、中堅企業の海外展開等国内産業界に共通する課題**

(例)

- **デジタルトランスフォーメーションの促進**
  - 先端デジタル技術、デジタルプラットフォーム系企業を取り込むことで、コスト競争から付加価値競争への転換を促進
- **サステナブルな社会の実現**
  - ビジネス主導の非連続的なイノベーションを通じ、脱炭素化等の環境と成長の好循環の実現
- **海外市場の取り込み**
  - 中堅・中小企業の海外開拓による海外需要の取り込み

Purpose

JICとして、社会にインパクトを与える

- ・ Society 5.0の実現に向けた新規事業・新産業の創造
- ・ 国内産業の国際競争力強化、業界の再編

Value Proposition

**注力領域(Where・What)**

- ・ 優れた技術／BMを持つ日本発グローバル・リーダーの創出
- ・ 選択と集中による産業構造再編の加速
- ・ 新しい社会基盤の創出

**価値創造パターン(How)**

- ・ 左記のWhatを実現するためのソーシング、ディール、バリュークリエーションのJICの強み
- ・ 専門性、ケイパビリティ獲得

**ステークホルダーへのリターンの提供方法(How)**

- ・ 我々に本質的に求められる成果の指標とインパクト、マグニチュード  
\* MOC、産業再編 etc

タレント・必要なケイパビリティ（提供価値のパターンの構築に向けた人材など）

オペレーションのプロセス（ソーシング・ディール・バリュークリエーション）

ガバナンス・マネジメントの仕組み・体制（意思決定、外部有識者等）

種々のインフラ・業務プロセスなど

Operating Model

## 参考資料

世界的なDXの潮流\*

国内外の社会課題の解決

## 日本経済の持続的な発展に向けて 日本の産業競争力を強化

産業・経済の新陳代謝が必要  
新たな成長企業の創出や大胆な事業再編

国内の課題

我が国のリスクマネー供給は他国と比較して圧倒的に不足

JICの役割

リスクマネーの好循環を生み出す資金と人材を確保

\* DX : Digital Transformation 企業が外部エコシステム（顧客、市場）の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム（組織、文化、従業員）の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術）を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること

（出典：経済産業省デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会, DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～, 2018年9月7日 / Japan IT Market 2018 Top 10 Predictions: デジタルネイティブ企業への変革 - DX エコノミーにおいてイノベーションを飛躍的に拡大せよ, IDC Japan プレスリリース, 2017年12月14日）

- JICおよび認可ファンドの役職員は、高度な倫理観を持って以下の行動規範を遵守し、高いパフォーマンスを発揮することに努めます。
- JICは、共同でゼネラルパートナーを務める投資家に対しても、以下の行動規範を最大限尊重し、行動することを求めます。

**誠実さと規律ある行動**

**Integrity & Discipline**

**卓越した専門家としての矜持**

**Excellence & Professionalism**

**責務の遂行と結果に対する説明責任**

**Accountability & Responsibility**

**相互の信頼とチームワークに基づく  
成果の最大化**

**Respect & Teamwork**

運用主体	戦略タイプ	投資先 ファンド	JIC LP出資割合	1ファンド への投資額 (億円)	民業補完の 考え方
JICが主体的 に設立する 運用会社	広いカバレッジ	VC、PEで1 ファンドずつ	1号100% 2号以降は 外部資金受託	VC 1,200  PE 2,000 (+共同投資 2,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策課題を フォローしつ つ、民間投資 資金が不足し ているセク ター、ステー ジ、戦略を投 資対象とする</li> </ul>
	特定分野・戦略	複数分野を 検討	100%未満	数百	
民間運用会社	民間投資資金が 不足している セクター、戦略 例：ライフサイエンス、 素材、モノづくり、 地方等	現在及び将来 の機関投資家 資金の受託を 期待できる ファンド	個別に検討	数十～数百	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間投資資金 が不足してい る分野</li> <li>LP資金の縮小 等に対応し、 実績あるファ ンドへのリス クマネーを供 給</li> <li>民間資金の呼 び水・補完的 機能を果たす</li> </ul>
	JICが投資対象 とする分野全般	実績ある ファンド (LPによる新規 コミット縮小等 に対応)			